

『名誉毀損判例・実務全書』

目 次

第1章 名誉毀損の実態

1 名誉毀損の実情	2
(1) 多数の名誉毀損訴訟	2
(2) 社会生活における名誉毀損	2
コラム1 名誉毀損と時代の風潮	
——「現代型名誉毀損」はありうるか?	3
(3) 名誉毀損の類型と効用	3
(4) 本書の目的・事例収集の方針	4
2 名誉毀損に至る原因・経過	6
(1) 情報の発信・提供・交換が原因となる名誉毀損と特徴	6
(2) トラブルが原因となる名誉毀損と特徴	7
(3) 処分、クレーム、苦情が原因となる名誉毀損と特徴	7
(4) 格付けが原因となる名誉毀損と特徴	8
コラム2 他人の悪口・不名誉な話と名誉毀損	
——井戸端会議とインターネット上の書き込み	9
(5) 日常の会話が原因となる名誉毀損と特徴	9
(6) 名誉毀損のトラブルと回避の必要	10
(7) 名誉毀損と現代社会における変容	10
(8) 名誉毀損に係る不法行為責任の判断のあり方	12
(9) 名誉毀損に係る不法行為責任の概要	12
(A) 保護される権利・利益の内容	13
(B) 民事上・刑事上の名誉毀損	14
(C) 名誉毀損による被害の実態・重大性・深刻度等	14
(D) 名誉毀損の要件	15
(E) 社会的評価の低下の評価基準	16
(F) 損害賠償額の認定・算定の判断基準	17
(10) 名誉毀損に固有の抗弁事由と免責法理	18
(11) 名誉毀損の法的効果	20

第2章 名誉毀損の法理の枠組み

1 名誉毀損の根拠	26
(1) 名誉毀損の法的な根拠	26
(コラム3) 名誉毀損をめぐる損害賠償の内容とその範囲 ——算定基準とその問題点	27
(2) 名誉毀損の要件	29
2 名誉の意義と類型	30
(1) 名誉の意義	30
(2) 法人の名誉	30
(3) 団体の名誉	31
(4) 死者の名誉	31
(5) プライバシー等との関係	31
(コラム4) 写真・動画をめぐる名誉毀損とその範囲	32
3 名誉侵害行為の類型	33
(1) 名誉の侵害の意義	33
(2) 名誉の侵害の公然性	33
(3) 名誉毀損の内容の虚実	34
(コラム5) 社会的に不名誉な処遇と名誉毀損	34
(4) 名誉毀損訴訟の審理の問題点 ——虚偽のみ切り離し審理方式の弊害	35
4 評価低下の判断基準	36
(1) 社会的な評価の低下の判断基準	36
(2) 新聞記事による名誉毀損の判断基準	36
(3) テレビによる名誉毀損の判断基準	36
(4) ウェブサイトによる名誉毀損の判断基準	37
(5) 週刊誌等の広告、見出しと本文との関係	38
(コラム6) 宣伝広告の方法と名誉毀損	38
(6) 対象の特定	39
(コラム7) いじめと名誉毀損	40
5 名誉毀損の免責要件	41
(1) 名誉毀損の不法行為の免責要件	41

(2) 免責の各要件の審理の実情	42
6 意見・論評の名誉毀損の要件と免責	43
(1) 意見・論評の名誉毀損の法理の歴史	43
(2) 最一小判平成元・12・21民集43巻12号2252頁の提示する法理	43
(3) 最三小判平成9・9・9民集51巻8号3804頁の提示する法理	45
(4) 最二小判平成10・1・30判時1631号68頁、判タ967号120頁の 提示する法理	49
(5) 最二小判平成10・7・17判時1651号56頁、判タ984号83頁の 提示する法理	51
(6) 最一小判平成16・7・15民集58巻5号1615頁の提示する法理	53
(7) その他の最高裁の判決	57
(8) 最高裁の判例による意見・論評の表明による名誉毀損に関する 法理の内容	57
(9) 法的な見解の表明の意義と免責の理由	60
(10) 意見・論評の表明による名誉毀損の類型	61
(11) 物事の価値、善悪、優劣についての批評等と法的な見解の表明	63
(12) コンプライアンスが重視される現代社会における最高裁の前記 法理的重大な疑問	64
7 真実性・相当性の要件の審理と判断	70
(1) 真実性の要件と立証対象	70
(2) 立証範囲	71
(3) 相当性の要件の判断	72
(4) マスマディアによる取材の範囲・方法・内容の相当性・合理性	72
(5) 相当性の判断をめぐる判例の動向	73
8 表現の自由・言論の自由・報道の自由との関係	77
(1) 名誉毀損の成否と表現等の自由	77
(2) 名誉毀損の法理を発展させた事件	77
9 被害救済の手段・内容	81
(1) 名誉回復措置の請求——謝罪広告の掲載等	81
(2) 名誉回復措置の可否と損害賠償請求との関係	81
(3) 名誉毀損行為の差止請求	82
(4) 損害賠償請求	86
(5) 慶謝料の算定基準	86

(6) 損害賠償請求権と時効をめぐる判例の動向	87
(7) 加害者の範囲	88
(A) 名誉毀損をめぐる複数の加害者	88
(B) 法 人	88
(C) 共同不法行為者	89
(コラム8) インターネットにおける誹謗中傷と名誉毀損	89
(D) 教唆者・帮助者	90
(E) 国・公共団体	90
(F) プロバイダ等の開示関係役務提供者	91
(G) 法人の役員	91

第3章 被害を受けた場合の対応策

1 被害発生から救済への態勢整備	
——被害の認識・調査・証拠収集——	94
対策ポイント① 名誉毀損等の認識と心構え	94
対策ポイント② 救済の法理の理解	95
対策ポイント③ 調査・全容の把握	95
対策ポイント④ 証拠の収集	96
2 加害者との交渉——警告・救済申入れ——	98
対策ポイント⑤ 警 告	98
対策ポイント⑥ 救済の申入れ	99
3 訴訟段階	100
対策ポイント⑦ 訴訟の準備	100
対策ポイント⑧ 訴訟の提起	100
対策ポイント⑨ 主張・立証	101
対策ポイント⑩ 判決対応	102

第4章 名誉毀損をめぐる判例と被害の態様

① 週刊誌による名誉毀損	104
1 概 要	104
2 個人に対する名誉毀損をめぐる判例	105
3 法人・団体に対する名誉毀損をめぐる判例	145
(1) 概 要	145
(2) 法人・団体に対する名誉毀損をめぐる判例	146
② 写真週刊誌による名誉毀損	159
1 概 要	159
2 写真週刊誌による名誉毀損をめぐる判例	159
③ 雑誌による名誉毀損	173
1 概 要	173
2 個人に対する名誉毀損をめぐる判例	173
3 法人・団体に対する名誉毀損をめぐる判例	195
④ 日刊紙による名誉毀損	203
1 概 要	203
2 日刊紙による名誉毀損をめぐる特徴	203
3 日刊紙による名誉毀損をめぐる判例	204
⑤ 夕刊紙・スポーツ紙による名誉毀損	240
1 概 要	240
2 夕刊紙・スポーツ紙による名誉毀損をめぐる判例	240
⑥ ミニコミ誌による名誉毀損	257
1 概 要	257
2 ミニコミ誌による名誉毀損をめぐる判例	257
⑦ 広報誌による名誉毀損	262
1 概 要	262
2 広報誌による名誉毀損をめぐる判例	262
⑧ 機関誌による名誉毀損	267
1 概 要	267
2 機関誌による名誉毀損をめぐる判例	267

⑨ 書籍による名誉毀損	272
1 概 要	272
2 書籍による名誉毀損をめぐる判例	272
⑩ ビラによる名誉毀損	292
1 概 要	292
2 ビラによる名誉毀損をめぐる判例	292
⑪ その他の文書による名誉毀損	298
1 概 要	298
2 その他の文書による名誉毀損をめぐる判例	298
⑫ ラジオ放送による名誉毀損	313
1 概 要	313
2 ラジオ放送による名誉毀損をめぐる判例	313
⑬ テレビ放送による名誉毀損	315
1 概 要	315
2 テレビ放送による名誉毀損をめぐる判例	318
⑭ 発言による名誉毀損	340
1 概 要	340
2 発言による名誉毀損の特徴	340
3 発言による名誉毀損をめぐる判例	341
⑮ 議会における発言による名誉毀損	358
1 概 要	358
2 議会における発言による名誉毀損をめぐる判例	358
⑯ 裁判活動による名誉毀損	367
1 概 要	367
2 裁判活動による名誉毀損をめぐる判例	367
⑰ コメントによる名誉毀損	386
1 概 要	386
2 コメントによる名誉毀損をめぐる判例	387
⑱ 記者会見における名誉毀損	392
1 概 要	392
2 記者会見による名誉毀損をめぐる判例	392
⑲ インターネット上の名誉毀損	411
1 概 要	411

2 インターネット上の名誉毀損をめぐる判例	412
20 制裁による名誉毀損	449
1 概 要	449
2 制裁による名誉毀損への対応	449
3 制裁による名誉毀損をめぐる判例	450
21 調査による名誉毀損	471
1 概 要	471
2 調査による名誉毀損をめぐる判例	471
22 反対運動による名誉毀損	484
1 概 要	484
2 反対運動による名誉毀損をめぐる判例	484
23 街宣活動による名誉毀損	489
1 概 要	489
2 街宣活動による名誉毀損をめぐる判例	489
24 契約上のトラブルによる名誉毀損	495
1 概 要	495
2 契約上のトラブルによる名誉毀損をめぐる判例	495
25 その他の類型の名誉毀損	497
1 概 要	497
2 その他の類型の名誉毀損をめぐる判例	498
〔参考資料〕	
・名誉毀損の裁判例——昭和時代	509
・掲載判例一覧	522
・著者紹介	537